

武蔵の史跡25」

史跡見学記録28年度（第3回）



元祖山手・七福神を訪ねる

実施日時：平成29年1月6日晴れ

参加人数：12名

巡りコース：

白金高輪駅→覚林寺→古池老稲荷神社→瑞聖寺→妙圓寺→行人坂→大円寺
雅叙園→蟠龍寺→龍泉寺（目黒不動）→安養院→→成就院→不動前駅

感想文は高橋さん・最後のページに記載してあります。

一月六日天気晴朗、新春の一日を七福神巡りに行きました。
正月で少したるんだ体の運動不足解消と色々無理な願いをしてきました。

江戸最初 山手七福神

案内図



江戸初期に江戸城の裏鬼門守護のため建立され、また将軍の鷹狩の際に参詣した「目黒の不動堂」の道筋に設置、江戸庶民に愛され、永く続く七福神巡りです。

元祖山手七福神は、青色の寺院（毘沙門天・布袋尊・寿老人・福祿寿）から赤色の寺院（恵比寿・大黒天・弁財天）へお参りすると（無病息災・長寿祈願）としてご

毘沙門天 覚林寺（かくりんじ）



豊臣秀吉の家臣加藤清正が、朝鮮から帰国する時、朝鮮王族の子を連れて帰り、大切に育てた。子供が成人して住職となり、清正公の守護神（釈迦牟尼仏）と共に清正公を祀っています。武人の誉れ高い清正公にあやかり、「人生の様々な苦悩に打ち勝つ」というご利益を求める人が多く訪れている。毘沙門天は、山門を入った左手のお堂に安置されています。



古地老稲荷神社



明和9年（1772）目黒行人坂の大円寺から出火した火災により周辺一帯が大きな被害を受け、復興がままならず、社会不安が起こった。文政12年（1829）古地朗稲荷勧進すると、周辺に火災が起きなくなり、火伏の神として信仰されるようになった。

布袋尊 瑞聖寺（ずいしょうじ）

寛文11年（1671）に完成した黄檗宗の寺院、中国の黄檗建築の特徴を示す二重屋根の構造となっている。本殿の大雄宝殿は、宝暦7年（1757）に再建したと推定されています。江戸時代から残る仏教建築として、国指定重要文化財に指定されている。



福祿寿・寿老人 妙圓寺（みょうえんじ）



江戸時代初期の元和元年（1615）に創建された。妙見大菩薩像は、靈驗あらたかな事から「開運妙見」と呼ばれ、地域の人々に親しまれている。また、足利尊氏の持念仏も祀っていると言う。

福祿寿・寿老人は、本堂右手の妙見堂に、妙見大菩薩の両脇に立っています。



行人坂

行人坂という名称は、湯殿山の行者（法印大海）が大日如来堂を建て修行を始めたころ、次第に多くの行者が集まり住むようになったのでつけられたという。この坂は、{振袖火事}「車町火事」と並ぶ江戸三大火の一つ「行人坂火事」とも関連して知られている。行人坂火事は、明和9年（1772）2月行人坂の大円寺から出た火が延焼し、3日間燃え続けた。迷惑の年だとの噂がたち、幕府は年号を、安永に改めたといわれる。

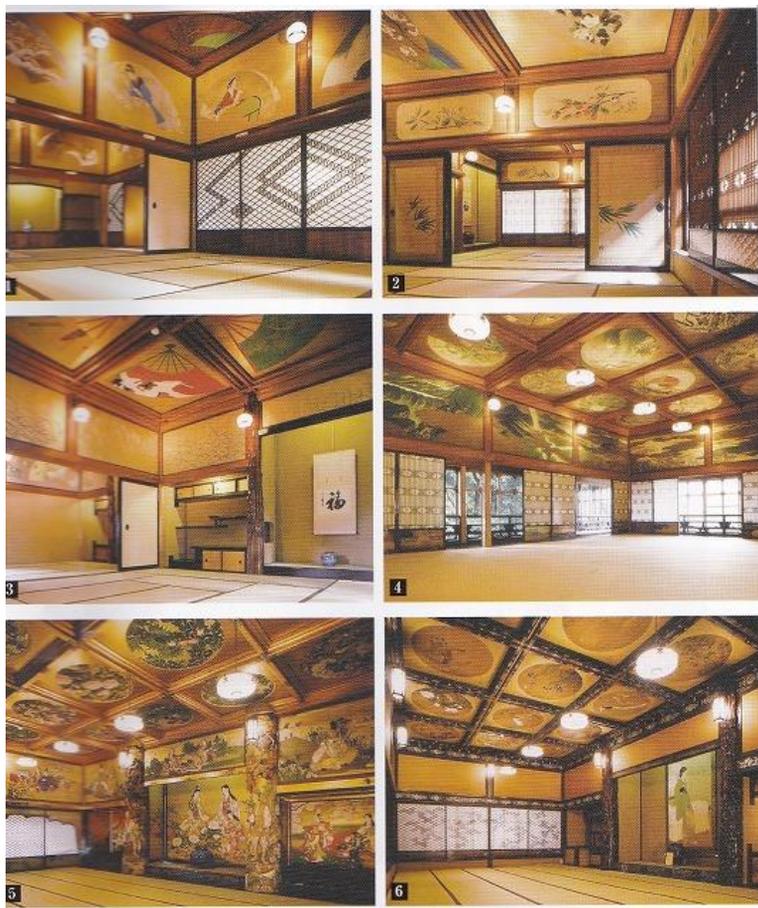
大黒天 大圓寺（だいえんじ）

寛永の初め、湯殿山の修験僧・大海法印が寺の前の坂を切り開き、祈願道場を開いたのが始まりとち耐えられる。

伝教大師作と伝えられる大黒天が本尊として祀られている（珍しい）。明和の大火災は、大圓寺が火元だったことから、犠牲になった人々の霊を慰めるため、石造の五百羅漢が造られ、50年かけて供養した。



目黒雅叙園



目黒雅叙園の「百段階段」とは通称で、かつての目黒雅叙園3号館にあたり、昭和10年に建てられた当園に現存する唯一の木造建築です。食事をする7部屋を99段の長い階段と廊下で繋いだ建物です。階段は厚さ5センチのケヤキ板を使い、各部屋は、天井や欄間など、当時屈指の画家たちが作り上げた美の世界が描かれています。“昭和の竜宮城”と呼ばれた目黒雅叙園の建物の特徴は、装飾の破格の豪華さにあります。平成21年に東京都有形文化財に指定されました。



岩屋弁財天 蟠龍寺 (ばんりゅうじ)



行人坂にあった称明院が、宝永6年（1709）に現在地に移され、改名再建された。本尊の阿弥陀如来像は、東京都の重要文化財に指定されている。弁財天が二体祀られているのが特徴で、江戸裏鬼門の鎮守として、本堂横の岩窟内に石造の弁財天（開帳は七福神巡り時のみ）が、弁天堂内には、木造の弁財天（八臂の天女像）が祀られています



恵比寿神 龍泉寺（りゅうせんじ）目黒不動尊



大同3年（808）に創建され、目黒不動尊として親しまれています。江戸時徳川家光が帰依した事により、53棟に及ぶ堂塔伽藍の造営が行われ目黒御殿とも呼ばれるほどだった。熊本の木原不動尊・千葉の成田不動尊とともに、日本三大不動尊に挙げられ、また、五色（五行思想（白・黒・赤・青・黄）江戸の五色不動尊が有名不動尊の一つとして広く信仰を集め、有名な行楽地として、門前町と共に賑わった。



安養院



狛犬？が珍しいので寄って見ました。

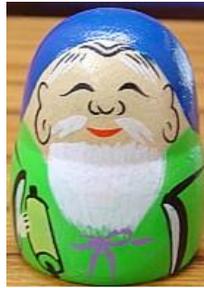
不老山薬師寺 成就院（蛸薬師）



徳川家光が、鷹狩の道すがら、当山に参拝し、瞬興和尚との御談によって、保科正之は、生母お静の方が、当山での祈願を成就して、秀忠公の第3子として世に出て、高遠城主に取り立てられ、のち会津藩主に転封され、松平家の祖となった。このお静の方が大願成就の為に奉納された地蔵尊が、お静地蔵尊と呼ばれ祀られています



目黒不動にて



さすが東京の七福神、参拝者も多く、思ったより立派なお寺が有りました

感想文

快晴無風の快適な朝、白金高輪駅に12名の方々が集合した。開札付近は七福神めぐりの団体が、次から次へと来場し、大変な賑わいです。

第七回目となる元祖山手七福神巡りは、今までにない賑やかさで、さすが東京で一番古く人気のある七福神だけあると思いました。今日は、今冬一番の冷え込みで、心も引き締まった感じで、さあお参りのスタートです。

覚林寺は、加藤清正公が祀られているお寺で、本堂の前には、5、60人ほど並んでいる賑わいぶりです。山門横の毘沙門天をお参りして、目黒通りに出ます。

八芳園の隣にある古地老稲荷神社は、火伏の神として信仰を集めています。明和の大火（行人坂の大火）の後に創建され、その後火災が起きない事から信仰が深まった。

瑞聖寺は、黄檗建築の本堂（国重文）内陣右に布袋様が祀られています。黄檗宗は中国から伝わったが日本では珍しい。本堂前では60人ほどの団体が記念撮影をしていました。

庭園美術館の南側（目黒通りを挟んで）に妙圓寺があり、妙見堂に妙見大菩薩と福祿寿と素老人が祀られ、御前でお参り（7日まで）できる。願が届いた気分！

目黒駅前から目黒川に向かって進むと、急な下り坂（行人坂）になります。その途中に大圓寺は、大黒天を本尊とする寺で、珍しいといわれる。ここは明和の大火の火元と言われ、その火事でとろけたお地蔵さまや、被災者を供養した五百羅漢などが有名です。清涼寺式生身釈迦如来立像（国重文）があり、今では有難いお寺です。

行人坂を降りた所に雅叙園があり、百段階段を見学した後に昼食です。豪華な部屋と日本画の数々をみて、美味しい食事を頂きました。

蟠龍寺は、岩窟内に石造の弁財天、御堂に木造の弁財天が祀られていました。両方とも入念に祈願しました。

龍泉寺は、目黒不動尊として江戸時代初めから深く信仰されてきました。恵比寿様は少し離れた池の中に祀られ、入念に無病息災を祈願し、記念写真をとった。

目黒不動門前街に成就院があります。お静の方が大願成就（保科正之誕生）の為に奉納した地蔵尊が祀られている。

今年の七福神巡りは、江戸時代から人気のある元祖山手七福神で、最後まで賑やかに参り出来、流石東京、歴史が濃く多く、そして、日本画や豪華な建物の見学など、多彩でした。

何よりも、みんな楽しく、賑やかに、無事にお参りができました。

有難うございます。健やかに、楽しく暮らせそうです。

高橋 弘